

使用済燃料の取り出し

使用済燃料とは？

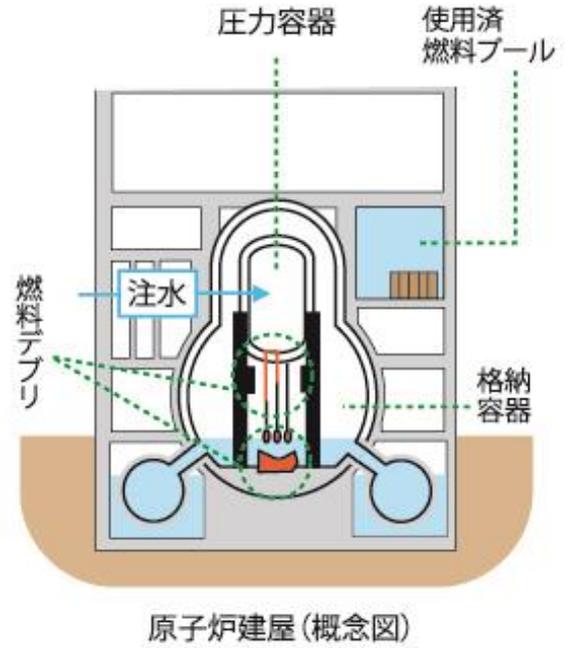
原子炉で発電に使用された燃料を「使用済燃料」と呼びます。

福島第一原子力発電所の各号機では、使用済燃料がプール内に貯蔵されており、それらを取り出すための作業が進められています。

使用済燃料プール内の燃料体数

2023年12月現在

号機	1号機	2号機	3号機	4号機
燃料体数	392	615	0	0



使用済燃料の取り出し状況

1号機

信頼性の高いダスト飛散防止対策や、より慎重な作業が必要であるため、大型カバー設置作業が進められています。



2027~28年度
取り出し
開始予定

2号機

ダスト飛散を抑制するため、建屋を解体せず、建屋南側からアクセスするための構台設置作業が進められています。



2024~26年度
取り出し
開始予定

3号機

3号機では建屋上部を覆うカバーを設置し、2019年4月から使用済燃料の取り出しが開始され、2021年2月にすべての燃料について、共用プールへの移送が完了しています。



2021年2月
取り出し完了



4号機

福島第一原子力発電所の4号機は、事故当時定期検査中であり、すべての燃料が使用済燃料プール内にありました。プールの水位低下はなく、燃料の損傷はありませんでした。2014年12月にすべての燃料について、共用プールへの移送が完了しています。

2014年12月
取り出し完了

